

地球観測に関する政府間会合(GEO)に関する最近の動向 (第36回執行委員会、第37回執行委員会報告)

平成28年10月13日

文部科学省

環境エネルギー課

目次

1. 第36回、第37回執行委員会
2. 参加国・参加機関の現状
3. エンゲージメント戦略実施計画
4. 商業セクターとの連携
5. プログラム委員会開催結果概要
6. GEO第13回本会合開催概要

1. 第36回、第37回執行委員会

【第36回執行委員会】

- 期間：平成28年3月8日(火)－9日(水)
- 場所：世界気象機関(WMO) Salle B-1(ジュネーブ)
- 参加者：共同議長国(欧州委員会(EC)、中国、南ア、米国(今回リード))、コロンビア、メキシコ、フランス、ドイツ、フィンランド、日本、韓国、豪州、アルメニア、オブザーバー機関(世界気象機関(WMO)、全球海洋観測システム(GOOS)、地球観測衛星委員会(CEOS))、GEO事務局(全体で約45名程度)。

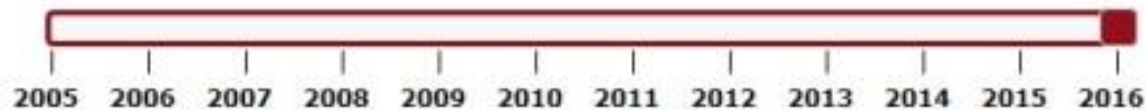
【第37回執行委員会】

- 期間：平成28年7月6日(水)－7日(木)
- 場所：世界気象機関(WMO) Salle C-2(ジュネーブ)
- 出席者：共同議長国(中国(今回リード)、欧州委員会(EC)、南ア、米国)、コロンビア、メキシコ、フランス、ドイツ、フィンランド、日本、韓国、豪州、ロシア、オブザーバー(世界気象機関(WMO)、全球海洋観測システム(GOOS)、地球観測衛星委員会(CEOS))、GEO事務局(全体で約45名程度)。

2. 参加国・参加機関の現状(2016年8月末時点)

- 参加国: ウルグアイ、アラブ首長国連邦(UAE)及びモンゴルが参加を表明し、103か国となった。
- 参加機関: 10機関からの参加申請があり、103機関となった。

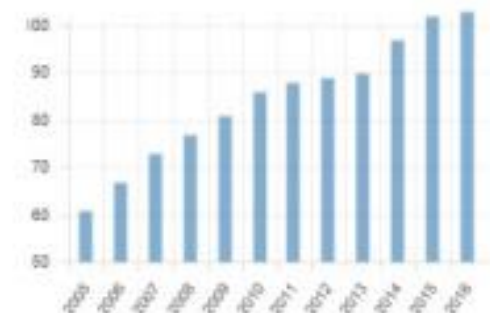
GEO Member Map for the year 2016



Number of Members (2016)

Africa:	27
Americas:	16
Asia/Oceania:	19
C.I.S.:	7
Europe:	34
Total:	103

Number of Members by year



3. エンゲージメント戦略実施計画

1) エンゲージメント戦略実施計画概要

GEOのビジョンを達成するため、最優先すべき連携目標、取組み方法及び手法を概説する文書である。

2) 議論概要

○ 3つの目標

「GEO戦略計画2016-2025」、「メキシコシティ宣言」等のガイダンスに基づき以下の目標を設定する。

- ① 広範な、オープンデータポリシー及びその実施を提唱する。
- ② 地球観測が環境に関する世界的な政策決定の土台となる。
- ③ GEO共通基盤(GCI)がより良い情報に基づき意思決定をするための地球観測データ・情報の主要な世界的情報源となる。

3) 我が国の対応

- データ共有は、課題解決への貢献が目的であり、単なるオープンデータの推進ではないこと等を強調した。

4) 議論結果

- 3つの目標が了承された。
- 欧州委員会(EC)を議長とする臨時作業グループが設置され、3つの目標に基づいた実施計画第3案を作成することとなった。

4. 商業セクターとの連携

1) 経緯

「GEO戦略計画2016-2025」及び「メキシコシティ宣言」のとおり、GEOは商業セクターとの連携を模索する方向にある。米国のリードにより、執行委員会において商業セクターとの連携方策について検討が進められている。

2) 議論概要

今後検討すべき事項として以下3点について米国から説明があり、議論を行った。

①GEOと商業セクター間の連携の種類について、以下の4つが考えられるのではないか。

- ・コーポレートアソシエイト(拠出金の支出を求める)を設ける
- ・コーポレートアソシエイト(拠出金の支出は求めない)を設ける
- ・臨時参加: ケースバイケースでゲストとして対話に招待する。
- ・本会合への個別の企業の参加は許可せず、GEOの参加機関となっている産業協会に産業界の興味や視点を代表してもらう。

②商業セクターフォーラムを本会合のサイドイベントとするか、本体の意見交換セッションとするか。

③オンラインアンケートの実施

3) 我が国の対応

- 企業に拠出金の支出を求める提案には反対し、第13回本会合本体に商業セクターとの意見交換セッションを設け、臨時参加の一環でゲストとして招待すること、その結果を踏まえ、企業との連携方策についてさらに議論することを提案した。

4) 議論結果

本体に商業セクターをゲストとして招きセッションを設けることとなり、アジア、アフリカ、その他地域からの代表者を加えて当該セッションの準備を行うサブグループを設置することとなった。

5. プログラム委員会開催結果概要(1/3)

1. 第3回プログラム委員会(2016年5月5日-6日)開催結果概要

1-1. 基盤的タスクの優先度付け

基盤的タスクのうち、優先度が高いと判断する条件を定める。

○高優先度の条件

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・タスクが重要な状態にあり、それを完了できない場合に、GEOの目標や目的に重大な影響を及ぼすもの。・GEOコミュニティ活動、イニシアティブ、フラグシップの成功を支援するもの・参加国や参加機関から提供されているリソースによって行われているもの | <ul style="list-style-type: none">・分野横断活動(例:気候変動)を支援しているもの・さらに効率的、効果的なGEOSSの構築に資するもの・GEOリソースの認知度や利用を高めるもの・実行可能な方法でなされるもの |
|--|---|

1-2. GEOブランドガイドラインの策定

GEOやGEOSSのロゴ、タグラインの使用等についてガイドラインを定める。

- ・イベント(会議、会合、シンポジウム)、出版物、報告書、ウェブサイト等、GEOが資金提供したものやGEO事務局によって承認されたものにGEOのロゴを使用することができる。



- ・ウェブサイトの下部や関連報告書や出版物において、GEOタグラインの使用を推奨する。

GEOタグライン

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">1. Contributing to the Vision of GEO;2. Contributing to GEO Objectives; | <ul style="list-style-type: none">3. Developed within the GEO Framework (for reports);4. Powered by GEOSS (for GEOSS-linked applications). |
|--|---|

- ・GEOのタスク活動のうち、フラグシップは本ガイドラインに従うこととし、イニシアティブは本ガイドラインに従うことを推奨することとする。フラグシップやイニシアティブの名称に「GEO」を含む場合には、GEOのロゴを使用することとする。

・国別ロゴ

国別GEOロゴについては、GEOロゴを含めることとする。

5. プログラム委員会開催結果概要(2/3)

2. 「ワークプログラム2017-2019」第1次案の準備状況

○ イニシアティブ・フラグシップ候補は以下のとおり。(☆印: 日本が参画するタスク)

- ☆ GI-01: 全球農業監視及び早期警戒イニシアティブ(GEOGLAM-Global Agricultural Monitoring and Early Warning)
- ☆ GI-02: 全球生物多様性観測(GEOBON-Global Biodiversity Observation)
- ☆ GI-03: 全球森林観測イニシアティブ(GFOI Global Forest Observation Initiative)
- ☆ GI-04: 全球水銀及び残留性有機汚染物質観測システム(Global Observing System for Mercury and Persistent Organic Pollutants (PoPs))
- ☆ GI-05: 全球炭素観測・解析システム(Global Carbon Observation and Analysis System)
- GI-06: アフリカのためのAfriGEOSS-地域レベルの連携強化-(Reinforcing engagement at regional level: AfriGEOSS for Africa)
- ☆ GI-07: ブループラネット- 海洋と社会-(Ocean and society - Blue Planet)
- ☆ GI-08: 災害時スーパーサイト(GEO Geohazard Supersites and Natural Laboratories (GSNL))
- ☆ GI-09: 全球野火情報システム(Global Wildfire Information System)
- GI-10: 地球観測データと再生可能エネルギー(EO data and renewable energies)
- ☆ GI-11: 寒冷地域のための情報サービス(Information Services for Cold Regions)
- GI-12: Integrated Information Systems for Health (Cholera, Heat-waves) ※タスク取り下げのため欠番
- ☆ GI-13: 大気質、健康データ及びリモートセンシングと現場観測による疾病推定技術に関する積算法(Integration of Methods for Air Quality and Health Data, Remote Sensed and In-Situ with Disease Estimate Techniques)
- GI-14: 全球エコシステムイニシアティブ(GECO: the GEO Global Ecosystem Initiative)
- GI-15: 山岳環境における観測及び情報に関する全球ネットワーク(GEO-GNOME Initiative: GEO Global Network for Observation and Information in Mountain Environments)
- ☆ GI-16: リスク管理のためのデータアクセス(GEO-DARMA = Data Access for Risk Management)
- GI-17: 全球都市観測・情報(Global Urban Observation and Information)
- ☆ GI-18: 持続可能な開発のための2030アジェンダに役立つ地球観測(Earth Observations in Service of the 2030 Agenda for Sustainable Development)
- GI-19: AmeriGEOSS
- GI-20: 全球における水の持続可能性(GEO Global Water Sustainability (GEOGLOWS))
- GI-21: 人類の惑星イニシアティブ(Human Planet Initiative)
- GI-22: アジア・オセアニアGEOSS (Asia-Oceania GEOSS –Asia-Oceania regional comprehensive earth observation application system)
- GI-23: アフリカ沿岸域の気候変動影響観測(CLIMATE CHANGE IMPACT OBSERVATION ON AFRICA'S COASTAL ZONES - GEO-CCIOACZ)
- GI-24: 全球干ばつ情報システムイニシアティブ(The Global Drought Information System Global Initiative)
- GI-25: 湿地イニシアティブ(GEO-Wetlands Initiative)
- GI-26: 生態系勘定のための地球観測(Earth Observation for Ecosystem Accounting (EO4EA))

○ イニシアティブ・フラグシップの条件に照らし、プログラム委員(主査1名、副主査2名)が現在評価中。

5. プログラム委員会開催結果概要(3/3)

3. プログラム委員会の付託事項の改正案

プログラム委員会の付託事項を改正することを提案する。主な改正事項は以下のとおり。(下線部分が追加箇所)

5.4 任期

5.4.1 推薦

GEO参加国及び参加機関の代表は、1名の委員及び最大2名の委員代理を推薦することができる。

5.4.2 任期

プログラム委員会の委員及び委員代理の任期は3年間とする。当該任期の間、代表は、委員及び委員代理を再指名することができる。

5.4.3 プログラム委員会の知識の維持及び継続のため、毎年全体の1/3の人数を改選する。

5.4.4 5.4.3項に定められたプロセスを開始するため、2017年のはじめに、共同議長を含むプログラム委員会の委員はくじによって、2017年まで、2018年まで、2019年までのいずれかの任期を決める。

5.4.5 もし、委員がプログラム委員会会合を2回連続で欠席し、そしてサブグループにおいても積極的な活動がない場合には、プログラム委員会共同議長からの進言に基づき執行委員会によって任期が終了される。

5.6 決定

プログラム委員会は総意によって決定する。強い反対があり、最善の努力をもってしてもその解決ができなかった場合、75%の多数決をもって決定とする。

◎上記のプログラム委員会からの提案に対する執行委員会の決定事項は以下のとおり。

- 基盤的タスクについてはGEO事務局が実施内容等の見直しを引き続き行うこととした。
- 付託事項の改正案については、5.4.6は委員資格喪失事由を連続3回の欠席とし、5.6はプログラム委員会は合意(consensus)により運営され、万が一合意に至らない場合には、執行委員会に報告することとしたうえで承認する。

6. GEO第13回本会合 開催概要

□ 期間:

第13回本会合 : 11月9日(水) - 10日(木)

執行委員会 : 11月8日(火)

サイドイベント : 11月7日(月) - 8日(火)

展示 : 11月8日(火)15時 - 10日(木)18時

□ 開催国:ロシア

※ローカルオーガナイザー: ROSHYDROMET(ロシア水文気象環境監視局)、ROSCOSMOS(国営ロスココスモス社)

□ 場所:サンクトペテルブルク(Park Inn by Radisson Pribaltiyskaya hotel)

